

ケータイ動画ネット発信 市民記者初の練習会

みんな頑張れ 佐賀総体

ITを使って情報発信を目指す市民団体「チームU」が、7月からの「2007青春・佐賀総体」を、携帯電話のカメラとインターネットを使って全世界に伝えようと、取材記者チームを発足させた。23日、佐賀市内で初の練習会を開いた。

「新聞やテレビで紹介しきれない隠れたニュースを掘り起こそう」と募集。会社員、農業、小学生、主婦ら記者経験のない約40人が集まった。

配信するニュースは2種類。生中継映像は、動画撮影機能の付いた携帯電話をビデオカメラ代わりに、ニュースの読み上げや、選手らへのインタビューを行う。一方、写真記事は最大30文字の文章を添える。いずれもホームページ(<http://u.saga-os.org/>)で見ることができ。

この日、スタッフが撮影や送信方法を説明。「取材の際は必ず相手から許可をもらうように」と心得も伝えた。同市駅前中央、社交ダンス講師倉町秀男さん(69)は「思ったよりの簡単。会場に来られない県外選手の家族らに、現場の感動や雰囲気伝えたい」と目を輝かせていた。

7月22日に再び練習会を実施。予算は数百万円かかる見込みで、今後、記者と合わせてスポンサーも募る。問い合わせは同チーム(052・20・2066)へ。



インタビューのビデオ撮影を練習する参加者たち

新聞 読 覧

2007年(平成19年)6月24日(日曜日)